

平成 25 年 1 月 18 日 (金) 朝日新聞 朝刊

煙突から石綿飛散

尾張旭市民会館、暖房停止

尾張旭市の市民会館で暖房ボイラーの煙突からアスベスト(石綿)の粉じんが飛散していることが市の調べで分かり、市は17日から市民会館の暖房を停止し

た。

国土交通省などの調べで、石綿を断熱材に使っている煙突から、石綿が飛散する恐れがあることが分かり、尾張旭市も15日の測定

で飛散を確認した。市では煙突の断熱材の劣化が原因とみている。新たに煙突を設置するまで、暖房は石油ストーブや電気ストーブを使うという。

市民会館は40年前に完成したが、耐震工事など改修に多額の費用がかかると予想されるため、廃止する方向で検討を進めている。